

令和5年度 第1回大磯町総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和5年7月24日(月)
開会時間 午後1時30分
閉会時間 午後3時30分
2. 場 所 大磯町立福祉センター2階 レクリエーション室
3. 構成員 池 田 東一郎 町長
熊 澤 久 教育長
濱 谷 海 八 教育長職務代理
曾 田 成 則 教育委員
トーリー 二 葉 教育委員
末 續 慎 吾 教育委員(欠席)
4. 事務局 齋 藤 永 悟 政策総務部参事(政策担当兼子育て支援対策本部担当)
兼政策課長
秋 本 篤 史 政策総務部政策課副課長兼政策係長
伊 藤 諄 政策総務部政策課主事
大 槻 直 行 教育部長
波多野 昭 雄 教育部学校教育課長
辻 丸 聖 順 教育部学校教育課主幹(コミュニティ・スクール推進担当)
5. 傍聴人 14人
6. 議 題
協議事項
(1)「児童生徒の事故等の状況について」【非公開】
(2)「今後の町のいじめ対策について」
※ 協議事項(1)「児童生徒の事故等の状況について」は非公開にて協議を行ったため、議事録を削除しています。

7. 会議概要

【開会】

政策課長) ただ今から、令和5年度第1回大磯町総合教育会議を始めさせていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます、政策総務部の齋藤と申します。よろしくお願いいたします。

総合教育会議は、原則、公開での開催となりますが、本日の協議事項(1)「児童生徒の事故等の状況について」につきましては、個人情報等の保護の観点から、非公開とさせていただきます。協議事項(1)「児童生徒の事故等の状況について」が終了し次第、傍聴されている皆さんには、入室していただきますので、予め御了承願いたいと思います。なお、本日末續委員から都合により本日の会議は欠席する旨の連絡をいただいておりますので、こちらにつきましても、予め御了承していただければと思います。

それでは始めに、池田町長からご挨拶申し上げます。池田町長、よろしくお願いいたします。

【池田町長挨拶】

池田町長) 本日はご多忙のところ、令和5年度第1回の大磯町総合教育会議にご出席をいただきまして、心から感謝申し上げます。

本日の総合教育会議の議題は、「今後の町のいじめ対策について」ということでございます。

令和4年10月に文部科学省が公表した「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果において、令和3年度のいじめの認知件数は約62万件で、神奈川県においても、令和3年度のいじめ認知件数は3万835件と過去最多となり、いじめ問題は深刻な状況にございます。この3万835件という数の中に、大磯町は818件という数字が入っているということでございます。

本日の会議は非常に胸が痛む内容が語られるかと思いますが、いじめ被害の当事者となっている児童生徒やその保護者の気持ちが1日も早く穏やかになるよう、町の今後のいじめ対策について、ご意見、ご提案をいただきたいと思いますので、有意義な会議となりますよう、会議を進めてまいります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

政策課長) 池田町長、ありがとうございました。

それでは、議事に移らせていただきます。議事に入ります前に、本日、お配りしてあります資料の確認をさせていただきます。まず、会議の次第、2つ目が総合教育会議の構成員の名簿、3つ目が席次表、4つ目が資料1といたしまして「大磯町におけるいじめ重大事態に係る調査経過報告」、5つ目が資料2といたしまして、「今後の町のいじめ対策について」、以上5点となりますが、資料は不足等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。もし途中で何かありましたら、声かけていただければと思います。

なお、資料1につきましては取扱注意のため、会議終了後に回収させていただきます。

思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それではこれから議題に入らせていただきます。議事の進行は、大磯町総合教育会議要綱第4条第1項の規定により「町長が議長となる」とされていますので、議事の進行につきましては、池田町長にお願いしたいと思います。

池田町長、よろしくお願いいたします。

池田町長) それでは、議長を務めさせていただきます。

議事が円滑に進むよう、皆様のご協力をお願いします。

会議次第に基づきまして、進めてまいります。

本日の議題は2件で、協議事項(1)「児童生徒の事故等の状況について」、事務局より説明をお願いします。

【協議事項(1)「児童生徒の事故等の状況について」】

※協議事項(1)「児童生徒の事故等の状況について」は非公開にて協議を行ったため、議事録を削除しています。

池田町長) どうもありがとうございました。

それではこれで協議事項(1)「児童生徒の事故等の状況について」は終了させていただきます。

それでは一旦、進行を事務局に返します。

【協議事項(2)「今後の町のいじめ対策について」】

政策課長) 池田町長、ありがとうございました。

続きまして、協議事項(2)「今後の町のいじめ対策について」に移らせていただきます。

冒頭でお知らせいたしましたとおり、公開の議題が終了いたしましたので、ここからは公開会議とさせていただきます。傍聴される方も外でお待ちになっていますので、ここで入室をさせていただきます。

傍聴者の方大変お待たせして申し訳ありませんでした。本日、報道関係の方が、お越しになられておりますので、写真撮影は許可したいと思いますのでよろしくお願いいたします。それでは協議事項(2)「今後の町のいじめ対策について」に入らせていただきます。

再び、議長の池田町長に議事の進行をお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

池田町長) それでは協議事項(2)「今後の町のいじめ対策について」に入らせていただきます。

この議題については私から簡単にまずご説明をさせていただきます。

協議事項(1)では、重大事態の認定について、色々中身について、ご意見をちょうだ

いしたところですが、大きくならないうちにいじめを防いでいく、あるいは起きないようにしていくということが、皆さんとのやりとりの中で一番大きなテーマじゃないかなという共通認識が得られたのではないかと思います。

そこで、今後の町のいじめ対策について、こうした事態になっていますので見直していかなければいけないだろうと特に私は思っておりますので、今日はたたきということで、ご説明をさせていただきたいと思います。

現状のいじめ対策ですが、私が登場しているものを2つ付けておきましたけれども、2月22日のピンクシャツデーで私が各学校にピンクの服を着ていくとか、あるいは小学校の入学式の時に、南京玉すだれで×（バツ）を作って、いじめは駄目だよと、みんな仲良くしようねっていうことを玉すだれで○（マル）を作って、1年生にわかりやすくお話をさせていただいてきています。

さらに踏み込んで、これから色々やってみたいと思うのですが、今後の町のいじめ対策で、いじめは重大な人権問題でございますので、いじめについて、子ども、保護者、学校関係者それぞれの立場で、もっと考えていかなきゃいけないのだと思います。予防対策、早期発見でいじめをなくしていくというのに、大磯町としても踏み込んでいかなきゃいけない、そんな時期に来ていると思います。

そこで、3点ばかり柱を考えてみました。今後の町のいじめ対策について、1つ目は、事前予防対策の強化、2つ目は、子どもたちが主体となるいじめ防止の取り組み、3つ目は、大磯町いじめ防止基本方針の見直し、この3点の柱を考えておりました。

それぞれ説明入ります。まず、1つ目の事前予防対策の強化。これ例えばということなのですが、いじめ防止の授業を実施する、そして、オリジナルアプリ、例として挙げてありますけど、鎌倉市ではSOSアプリというのを取り入れていじめ防止に役立っているということですので、オリジナルアプリ等の活用による早期から、さらには、地域の方による子どもまもり隊、これを作って、いじめの兆しがあったら、相談に学校を回ってもらうというようなこともやっていきたいと思っています。次に、2つ目の子どもたちが主体となるいじめ防止の取り組みということですが、例えば、児童会・生徒会主体によるいじめ防止対策として、合言葉の提案をしてもらって、いじめは駄目だよとか、そういう心に響くような合言葉の提案はどうかと思っています。次に、3つ目で、大磯町いじめ防止基本方針の見直し、例えば、現行の大磯町いじめ対策基本方針の見直しを行い、わかりやすいものにするということで、今回話題になりました、重大事態の認定につきましても、現場の職員さんなり、教育委員会の方がこれは当たるとか当たらないということの判断がつきにくい条文となっていますので、それをもう少し具体的にわかりやすく、認定するかしないかということの判断がつきやすいようにしていくというのをはじめですね、いじめの基本方針をわかりやすいものに変えていくというようなことを考えたらどうかと思っています。以上3つの柱に基づいて、たたきということで提案をさせていただきまして、こうした取り組みを9月ぐらいから、新学期から順次できるものからやっていきたいということを考えておりますのでぜひ、本日は委員の皆様から忌憚のないご意見をいただければと

存じますので、ただいまご説明いたしました内容につきまして、御質問等、ご意見等あれば、挙手をお願いします。

曾田教育委員) 学校にはお客様相談窓口はないですが、学校にそういうのがあれば、もっとうまくいくことだろうと思うのですが、これをどういうふうに対応していったらいいのかというのやはりテーマの中に押し込んでいくことができませんか。

池田町長) これについては、例で挙げた子どもまもり隊があれば、いじめを受けたっていう気持ちになってしまったお子さんや保護者の方が連絡すると、子どもまもり隊にお話を聞くような形がとれないかなと思っています。これは人選が結構難しいと思うのですが、地域の方で顔の広い方々を何人か登録をすれば解決できるようなイメージをしています。

濱谷教育長職務代理) 町長から今後の町のいじめ対策をこのような骨子で取り組んでいきたいということについて大賛成です。ただ、その中に我々が、考えなければならぬというのは、いじめ問題では、教育的思考や教育的配慮をしていかなければならない。安易な仲直りを被害者加害者に求めるというような僕は配慮がありすぎる故に問題が大きくなっていくと思う。現場では、教育的な配慮として、仲直りをさせていこうという手法を取る。それで仲直りをしていくのでしようけども、裏側に来ると保護者が全く違った視点で見てくるわけですね。学校が丸め込んだのではないかなというような捉え方をしてくる。このようにご父兄たちの考え方が変わってきているので、従来の教育的な配慮や安易な仲直りというものを取っ払ってしまって、リーガルマインドとコンプライアンスをしっかりと認識をしていくことは大事になってきているのかな。それは重大事案にも繋がってくるのかな。ですから、教育委員会の方も教育研究所を中心にして、法的な思考を踏まえた対応を先生もしっかりできるように教員研修が実施をされておりますけども、これももともと時間をかけて、教員たちに法的な思考というものを持たせていかなきゃいけないのではないかなと思いました。

それから、鎌倉のアプリが出ていますが、このアプリも私は大賛成です。当然、今までは紙でアンケートを取っていた。多様な子どもたちがいる中で、紙に書かせて、それを集計するまでにやはり時間がかかる。だから、デジタル化によって、そういう時間をかけないで、スピード感を持って集計して、そして問題があれば、即カウンセラーに早期対応を依頼するという連携をしていくことが大事という意味で大賛成。そして、そのためにカウンセラーにしっかりと支援を依頼していくという繋がりを持つことが大事なのかなと思ったりしております。

それからもう1点、いじめの問題で、今度は大人の立場ですけど、いじめ防止対策推進法によるいじめ重大事案等が発生したという場合に、我々が迅速かつ的確に対応できるようにいじめ重大事態対応訓練をどこか実施するべきなのだろうなと思います。後に後に回ってしまうので迅速にやっぱり対応できない。何でそんないじめに対して訓練するのかと

言われてしまうと思いますが、今大磯で重大事態があるという状況であるため、施策の1つとして、年に1回ぐらいはやっぱり訓練っていうのが必要なのかなと思います。町長、町議会議員、教育委員会、いじめ問題調査委員会、学校、警察等の関係者が参加をしながら、教育委員会と大磯町と連携をしながら、やってみてもいいのかなと考えたりいたします。1つの事例としてはね、中学1年生の男子が自宅のマンションから転落して重傷という事件が発生した。その裏にはいじめが背景にあるのではないのかという1つの事例を作りながら、そういうことが起きたときに、どう対応していくのか。これも慌てながら、教育長に連絡する、町長に連絡する。重大事案として対応していくのか。そして、それを調べていく中で、当然結論が出てくるわけですから、その結論に提言として、どう考えて、町長に報告し、議会に報告していくのか。そういうことを再発防止策として必ず、念頭に入れながら、訓練を終了していく。そういうような大きな取組みをしてもいいのかなと思います。

それから児童会・生徒会主体によるいじめ防止対策でその心に響く合言葉、フレーズを作っていこう。そのため、現場の先生が朝の会や帰の会を利用しながら、5分でもいいから、毎日こういういじめの問題からテーマを変えながら心に響く内容を話していくという。ことを今考えております。それから、いじめ防止の事業の実施というものもありました。まさしくいじめ防止という命を大切にするという授業を僕は学期の中で、何時間のカリキュラムの中でやっていく。命を大切に、暴言を吐いちゃいけないよ、冷やかashiをしてはいけないよ等を教えていく。調べてみると民間の医療法人で、いわゆるいじめによって子どもを亡くした保護者たちがグループを作るような団体もあるようです。そういうところと提携をしながら、小学生の命を大切にするという大磯独自のプログラムを発足して、それを継続し、形骸化しないように子どもたちの命、大切に場所と発信するのでもいい。

池田町長) 色々示唆に富んだご意見を賜りました。本当にありがとうございます。

安易な仲直りと教育的な配慮が出てしまうと、親からすれば学校が丸め込んだのではないかっていうのは大変大事な視点だと思いますので、子どもまもり隊のような外部の人でカウンセラー的な方を先生に任せるのではなくて、初動のところから入っていけるような形がとればなと思います。アプリを含めて、それを念頭に、やっていきたいなと思います。

それから、訓練については是非やりたいと思いますので、教育委員会と早速検討してもらいたいと思います。

それから、いのちの授業については、先生の自主性に任されている面があるらしく、全クラスでやっているわけではないので、できれば9月の新学期に1回は、いのちの授業、あるいはいじめに関する授業をやってもらい、子どもたちに意識付けをしてもらうということをやってみたいなと思います。

曾田教育委員) 承知の上で、命と心というのは教育長室にも飾ってありますようにそれをもっと力入れてやってもらったらいいかなと思います。

池田町長) 繰り返しになりますけど、いのちの授業というのは、道德の時間を使ったりしてやっていますけど、やりたい先生はやって、やらない先生はやってないっていうのではなくてそれを必ずやってもらえればいいと思います。

トリー委員) 私も一番初めに言った通り何かあったときとにかく現場で謝りなさいと、加害だと言われている場合はまず謝りなさいっていうのは一概にその通りとは言えないかとやはり思っていたのでそれは今日言いたかったです。

人は捉え方が色々で、表現が上手い子下手な子いますからね、本当はすごく仲良くしたいけどどうしていいかわからなくなって、仲良くしようと思ったら、それが逆にいじめられたと捉えられたというようなことがあるので、何でも謝りなさいではないと思います。大人の都合で親同士が色々話を広げてしまうと、結局全て子どもに影響が出ますし、大磯町ではほとんどの方が幼稚園小学校中学校を地元で過ごされるので、せっかく自然が豊かな環境もあるので、それを使って子どもがわくわくできるようなイベントを考えられたらなと感じます。例えば、今夏休みにわくわくできるみんなで力を合わせなきゃできないようなイベントを企画することで今まで喋ったことなかった子とよく喋るようになって仲良くなったとかお互いを理解して距離が近くなっていくこともあります。

池田町長) いじめ防止の授業というよりはもっとふわっとしたみんなが力を合わせなければできないようなことが自然にできることが一番いいと思います。そこにイベントがあるのかわからないけど、例えば行事とか、また、コロナで運動会も十分にできていないとかそういうことが理由で何か溜まっていたものがあったのかと感じます。

トリー委員) 学校や家庭で発散できずにもんもんとして、何かきっかけで人に当たったり、大人でもありますからそういうお子さんもいるだろうし、一概にいじめたから悪いとか、そういうことではなくて、被害、加害かいう言葉ではなく、何とかちゃんはあるあなたにいじめられたと言っているけど何でそのように思われているのか、気持ちの中に落とし込めるような言葉を大人もたくさん持っていればいけど、それだけ本当に突き合わせて話し合っ、あなたそうだけど、何とかちゃんにとっては、こう捉えたよというような心の授業をしても良いと感じます。

池田町長) 対症療法的なものはとっていきますけど、本当は対症療法ではなくて、毎日ニコニコして行きますと言って、楽しかったと感じることが一番基本ですから、こういう形で問題になりましたけど、これをきっかけに良い方向へ持っていけないかなと思います。

トリー委員) コミュニティスクールも始まっているので、子どもまもり隊みたいなその地域の気楽に話しやすいような大学生や高校生とか少し年上の方をお願いして、遊びながら話聞いてくれるような仕組みが考えられたら良い。大人だと少しかしこまってしゃべりにくいなどもあるため、その点で若い年代層の存在は大きいと思います。

池田町長) コミュニティスクールは大磯町では始まったばかりですので、先行している二宮町を参考にしながら、色々やってみれば良いと思う。地域の人が学校へ入ってくるというのは子どもにとっても新鮮ですし、どんなおじさんだろうなど、わくわくするようなところもあります。

トリー委員) アプリはすごく私もいいと思います。

池田町長) アプリで初動に結びつけるため、早めに学校の先生ではなく専門家の方が出てくるようにする。それによって、保護者もまるめ込まれたというイメージにならないようにもっていく。初動の基本の形として、わくわくしてみんな仲良くしようという機運が芽生えたらよいと感じます。

濱谷教育長職務代理) それが大事ですよ、学校大好き、友達大好き、地域大好きということが基本です。そのような児童生徒を育成することが大事です。

池田町長) 楽しい学校、わくわくする学校について教育長どう思いますか。

教育長) そういうつもりで先生も仕事しているはずですけど、大人は結果で必ず評価されるので、そういうところがすごく大事だと思っています。基本的に大人の姿を反映していると思うことがすごく多くて、世界的なロシアとウクライナの件とか人を批判して攻撃するというパターンが大人の社会で平気で行われている。それは子どもにも反映しているのかなと思ってしまうこともある。だからと言って良いわけじゃなくて、どうしたらいじめがなくなるかっていうやはり予防対策を学校としてもお願いして、2月20日ピンクシャツデーのようなイベントもそうですし、子どもたちが自分たちで良くする学校、自分たちが作る学校というのをやって欲しい。私もずっとそのつもりで、学校は子どもと先生が創るものですが、保護者の応援がないとできないといつも言ってきました。最近は批判されることが多いので、町長の提案も含めて、学校長には細かい指示を今回出させてもらいました。その中でできることはやってくださいということでお願いはしています。私も以前に社会教育のためにヤングテレホンという役場の電話ですけど、それで悩み相談を受けますよということを広報して、実際に電話がかかってきた。町としても、そういういじめだけじゃないですけど、同じ相談窓口で電話対応するコーナーを作ってもいいかなと思っています。それから、鎌倉のアプリの話ではないのですが、アンケートについて、毎月取っている

学校もあります。いじめのように思えることがあるかというような内容についてです。学期に1回のアンケートでは動きが遅いので、アプリであれば今日あったことで瞬時に連絡が取れる。そういう形でやれば、相手に対する迅速な対応ができてすごく大きいなと思いますので、お金がかかることですが、そういうことを含めて対応していただければありがたいと思います。

今回の結果で言うともうあまり良くない報道が出たので、それに対してこんなに良くなったよということを出していかなきゃいけないと思いますので、町を挙げて取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いします

池田町長) 今日、教育委員の皆様からいただいた重要なお示唆は、仕組みを整えるのは大事だけれども、子どもたちがわくわくして楽しく学校へ通えるような根本的なところをしっかりと大磯でやっていかないといけない。いくら初動を頑張っても生まれてくるいじめを減らすことはできない。そしたら、わくわくする学校、わくわくする授業、わくわくする教室をどうやって作っていくのかというところが、一番重要なところじゃないかなと思っています。教育大綱を変えたところですし、そういうところを教育長、教育委員会で速やかに実行に移せるように重大な決意を持ってやって欲しい。私は9月からやろうって言っていますので、いのちの授業や子どもの生徒会などを考えてもらうとか、今回の事例を決して無駄にしないようにスピード感を持って実行してほしい。

教育長) わかりました。

トリー委員) どんなことしたら楽しいかなどについて、お子さんからの声も募集しても良いと思います。大人が発想できないようなやわらかい頭を子どもたちはもっている。

池田町長) いじめ防止というより、子どもたちには、わくわくするような強い学校を作ろうよということを掲げたら良い。対して、大人はしっかりといじめに対する対症療法的なもの、ツールを備えることが必要となる。

教育長) 今、コミュニティスクールを指定して1年経って、2年目を迎えて、幼保小中一貫教育を進めています。どういうことをやっているかということを書き出しています、その中で、もっとこういうことをしたいことが書かれています。学校の教員も最終的な評価はやはり授業になります。すばらしい授業をやれば、子どもも楽しくてしょうがない。逆にそういうことをしていかないと学校じゃないということになってしまう。命の授業についても基本的にみんな一応やっていますが、その取り組み方には大小あり、教員によっても切り口が違ったりします。ちょうどコロナも一区切りしてきて、9月から始めるという話もありましたので、もっともっと突っ込んでいけるような授業をして欲しいと思います。

池田町長) やって欲しいというだけでなく、やるためにはどうするかというのをやはり教育委員会としても、十分に考えてもらうことが必要じゃないかと思います。先生にして欲しいというメッセージは、今までも当然伝わっていると思いますけど、実際に現場がどう動いていたかということです。今回のような大変重大な事態を迎えてしまっている以上、先生方がちゃんとそういう授業をしていただけるように教育委員会や総合教育会議できちんとメッセージを発していかなければいけないと思いますし、授業の色々な進め方について幅があると思いますから、子どもたちが心を育むというわくわくしてもらう授業をするには、どうしたらいいのかということを含んでみんなで研修や情報共有していくという仕組みを今こそ作らなければいけない。是非、よろしくお願いします。

それでは、一通りご意見いただいたところでございますので、この議題について締めくくらせていただきたいと思います。

これで本日の議題はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。

それでは進行を事務局にお返しいたします。

政策課長) 池田町長、ありがとうございました。

それでは、「4. その他」に移らせていただきます。委員の皆さんから何かありますでしょうか。ないようでしたら、事務局から1点、ご連絡させていただきます。

今後の総合教育会議の日程等につきましては、今回、児童生徒の事故等の状況等の議題がありましたので、その進捗状況に合わせた中で、適宜ご報告の場を設けさせていただきます。改めて日程調整させていただきたいと思いますので、ご協力の方よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回大磯町総合教育会議は終了とさせていただきます。皆様、長時間にわたり、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

(以上)